別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏(法人にあっては名称)						住 (法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 701-0292					
名 小橋工業株式会社				1 1 1	所 岡山市南区中畦684						
本票作成	部署名	5:生産	技術部								
主たる業	主たる業種 ^{分類} コード 26 業種名: 生産用機械器具製造業										
事業の 農業用機械 (トラクタ用ロータリー、トラクタ用代かき機、野菜収穫機など)・部品(耕うん爪)の製概 要 造、販売 【生産量 農業用機械:約10,000台/年・耕うん爪:約700万本/年】											
	番号		工場等の名称				所 在 地				
	1	小橋工	橋工業株式会社 本社・工場			岡	山市南区中町	圭684			
県内の											
主 な 工場等											
上											
d to the the NICe		(1) (4) (4)	5百油盎笞1	EOOLODI L	- D O N 7	- 157100	台、タクシー250 [・]	ADLL.		14 X 0 0	1.10 .00
特定事業 の該当要		●工場等		эооке <i>р</i> д 1			台、979-250 5台数(②該			⑵揆异3,0	00t以上 台)
7 10/3		■上物下	デジンダ人		. <i>D</i> I	●単門	可口奴 (②政	ヨワ物	ПΙ		口)
温室効果カ	iス 基i	準年度(年度)	(令和		E度排出量	目標年	度(令和		年度)
排出量	===	п	8, 118 t		et.	6, 2	116 t CO ₂			,712 t	CO ₂
		·号 D 小板		場等の名	, .		(令和 2) 年度排出量 6,116 t CO ₂				
		D 小橋	工業株式会	学位 41	工・工場				6		CO_2
主な工場											CO_2
の排出量											CO ₂
										t	CO ₂
										t	CO ₂
	= 計i	画期間:	<u> </u>	成 30	年度	~	令和 4	年度	(5 箇	年度)
削減目標 達成状況	の			(2		川減実績	目標削減	1	(目標達成	
	兄 ——			_	21. 6	%	5. 0		☑ 達成		未達
	温温	を効果ガス	くの排出量との	密接な関係	をもつ値の内		原畄	位当たり			
(原単位基 の削減目標	:準					基	基準年度 (2)年度 目標年度				
選択してい場合に記入	る耕	る┃耕うん爪売上金額(千万円)				. 910	22.65		27. 4		
	.)					t CO2	/ 千万円) t (CO ₂ /(千万	ī円) t	CO ₂ /(千	万円)
(該当事業	食者のみ かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅう	.記入)									

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和	2	年度)	達成率等
指標の状況						

【削減状況の自己評価】

- エネルギー消費量の削減(省エネ化)を進め、CO2削減を実現していく。
 - ・工場建て替えに伴う新設備導入(省エネ設備)
 - ・生産ラインの生産性向上

平成30年度 エネルギー使用合理化等事業者支援事業の案件が、稼動し概ね順調に温室効果ガス排出量の削減が進んでいるものと考えている。

今後も、温室効果ガス削減に向け取り組み、また追加の削減対策を検討する。

【推進体制】

省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している 社内委員会で【安全環境委員会】を設置 委員会の月一開催で、エネルギー使用量、生産ラインの原単位状況の報告等の実施

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

【目標削減率達成のために実施	亙した措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
小橋工業株式会社 本社・工場	(R2年度実施分) ・塗装乾燥炉及び塗装ライン全体を高効率タイプに改造実施。 令和2年度実施(年間60 t-CO ₂ 削減)
	・工場建替えに合わせて、建屋照明のLED化を順次実施中
	(今後実施予定分) ・工場建替えに合わせて、建屋照明のLED化を順次実施予定

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・OA機器の節電とこまめな消灯、空調機器の設定温度の徹底
- ・一般社団法人 環境共創イニシアチブの 平成30年度 エネルギー使用合理化等事業者支援事業の 採択決定にて実施

(令和2年度が 効果の計測期間になります)

- ・使用電力について、CO2排出係数100%低減電力に変更を検討中。 (令和3年度 変更予定)
- ・創エネルギーについて、検討中。